

図書館だより



no.244

2023(令和5)年11月10日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<https://www.library.fcs.ed.jp/>



展示のお知らせ

『 福島市の市町村広報誌 』

福島県内の各市町村の広報誌を展示します。
創刊号や記念号のほか、市町村合併や市町村制施行周年記念事業が掲載されている号などを取り上げ、当時の様子を振り返ります。

場所：企画展示コーナー

期間：令和5年11月3日(金)～令和6年2月12日(月)

以下の通り、3期に分けて資料の入れ替えを行います。

第1期：11/3～12/6 県北・県中・県南地域

第2期：12/8～12/27 相双・いわき地域

第3期：1/5～2/12 会津・南会津地域



おはなしかいの
お知らせ



ちいさなおはなしかい

絵本を読んだり、わらべうたを歌ったりします。

時間 午前10時30分～(15分程度)

対象 0～3歳の子どもと保護者の方

開催日程 11月9日(木) 12月14日(木)

☆放課後おはなしかい☆

絵本の読み聞かせ等を行います。

時間 午後3時45分～(15分程度)

対象 4歳から小学生の子どもと保護者の方

開催日程 11月15日(水) 11月22日(水)

12月13日(水) 12月20日(水)

ミニ展示のお知らせ

本で巡る世界の食文化

期間 令和5年11月3日(金)～12月27日(水)

場所 センターホール・蔵書検索コーナー横の平台

食欲の秋や年末の催しにちなみ、
各国の食文化について書かれた本を
展示します。

～年末年始の休館のお知らせ～

令和5年12月28日から

令和6年1月4日まで休館いたします。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お薦めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『アイコンデザインのひみつ 洞窟壁画からスマートフォンまで』米倉 英弘／著 翔泳社 2023.6 727/㊦ 236

スマートフォンの画面上から街中(当館の入口にもあります)に至るまで、「アイコン」は常に目に入る、生活に不可欠な要素となっています。本書では、前半でアイコンの歴史や有名な事例について解説し、後半でアイコンの基本的な作り方や様々な応用技法・事例を紹介しています。見開きで1テーマずつコンパクトに解説しており、隙間時間に気軽に読み進めてアイコンについての知識を得ることができる1冊です。

『測る世界史「世界の基準」となった7つの単位の物語』ピエロ・マルティン／著、川島 蓮／訳 朝日新聞出版 2023.6 420.75/マヒ 236

“測定”という行為は私たちの身近に存在しています。時間を測ったり重さを測ったりすることは私たちの生活には必要不可欠です。本書ではメートルや秒、キログラムなど聞き馴染みのある単位7種類を取り上げ、それぞれの単位がいま使用されている形になるまでの歴史を解説しています。現在の基準となるまでにどのような経緯があったのかを知ることで、“測定”をより身近に感じられるかもしれません。

『読書バリアフリーの世界 大活字本と電子書籍の普及と活用』野口 武悟／著 三和書籍 2023.7 369.27/㊦ 237

活字に読みづらさを感じている方でも読書をあきらめなくてよい環境づくりのためには、どんなことが考えられるでしょうか。本書は「読書バリアフリー法」「バリアフリー資料」「大活字本」等について紹介されています。なかでもテーマになっている「大活字本」は当館にもコーナーがあり、たくさんの方にご利用いただいています。大活字本を今まで読んだことがないという方も、手に取るきっかけとなりそうな1冊です。

児童・児童図書研究

『ちきゅうのびんづめ』マーティン・スタネフ／作、福本 友美子／訳 小学館 2023.5 P/スマ

主人公の女の子のおばあちゃんは一人で静かにびんづめを作って暮らしています。孫たちはそんなおばあちゃんに対して「たのしいことなんてなんにもしてないんだろうな」と思っていますが、その言葉とは裏腹に描かれるおばあちゃんはいつものどこか楽しそう。ある日、おばあちゃんから「だいじなはなしをしたい」と言われ、孫たちは仕方なく話を聞きますが…。そこで明かされるおばあちゃんのびんづめの秘密とは。

ページの隅々まで細かく丁寧に書き込まれた絵は、きっと何度読んでも新しい発見ができます。子どもだけでなく、大人も一緒に地球環境について考えるきっかけになる絵本です。

雑誌・新聞

10月から始まったインボイス制度について特集された雑誌をご紹介します。ぜひご活用ください。

『ジュリスト』Z320.5/J1 2023.9(NO.1588)

特集「インボイス制度が始まる」

『週刊ダイヤモンド』Z330.5/S7 2023.9.30

(第111巻第32号)

特集「インボイス&改正電帳法」

『エコノミスト』Z330.5/E1 2023.9.19・26

(第101巻第33号)

特集「10月スタート! 大丈夫? インボイス&電子帳簿保存法」

『企業実務』Z336/K1 2023.8(第62巻第10号)

特集「万全を期すための「インボイス制度」最終チェック!」

『週刊東洋経済』Z330.5/T4 2023.7.1(第7123号)

特集「インボイス完全マニュアル」

地域

『SMARTCITY5.0 持続可能な共助型都市経営の姿』海老原 城一／著、中村 彰二郎／著 インプレス 2023.7 L318.8/E2/2

DX推進が注目される昨今、都市や地域の課題解決を図るスマートシティへの関心が高まっています。その中で、先駆的な事例として取り上げられているのが会津若松市が進める「スマートシティ会津若松」です。

東日本大震災からの復興支援策としてスタートしたこのプロジェクトは、さまざまな課題を乗り越えながら、近未来の地方都市の姿を実現するための考え方やテクノロジーのあり方を提示してきました。この「会津モデル」を中心に、その背景やスマートシティの最新動向などを知ることができる1冊です。

『相馬野馬追 Fan Guide 2022-2023 創刊号』

齊藤 和記/[編著] ARMS Corporation 2023.7

L385.2/S13/1

3年ぶりの通常開催となった2022年の相馬野馬追の模様を中心にまとめられたガイドブックです。豊富な写真と共に、3日間の様子と、2023年5月の神田祭での甲冑騎馬武者行列についても伝えています。また前総大将の相馬行胤氏や甲冑競馬の勝者、神旗争奪戦の1番旗正賞獲得者らへのインタビューや、楽しむための見どころなども紹介されています。文章は日本語と英語が併記されています。相馬野馬追の魅力と、寄せられる多くの方の思いが見えるような1冊です。